

安達太良山の火山活動解説資料（平成28年12月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①）

若宮及び鉄山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2-②～④）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況

- ・左図：若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置している監視カメラの映像（12月24日）です。
- ・右図：鉄山（沼ノ平火口の北東約700m）に設置している監視カメラの映像（12月22日）です。

注）破線赤丸で囲んだ箇所など部分的にレンズに氷が付いています。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成29年1月分）は平成29年2月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

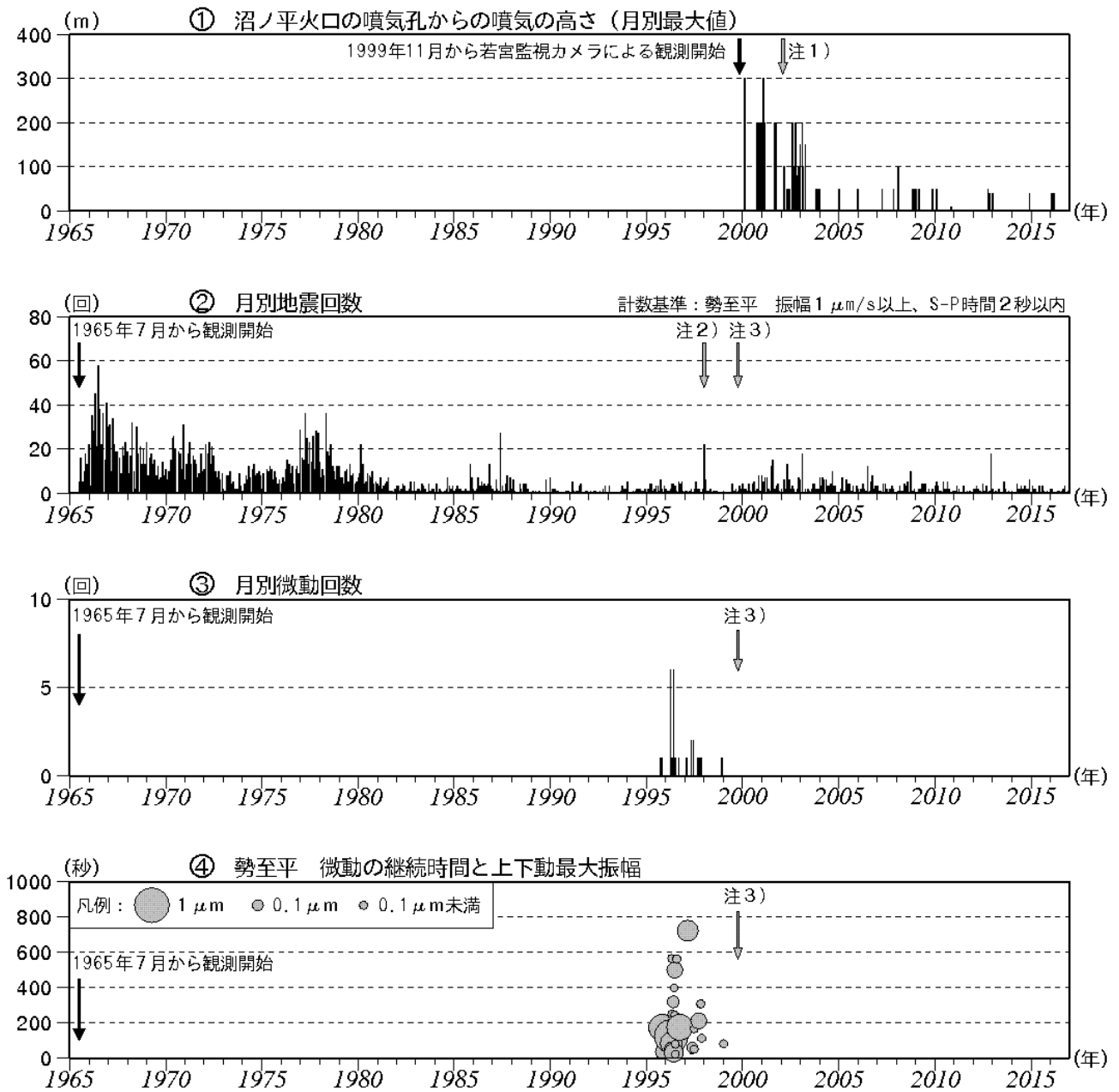


図2 安達太良山 火山活動経過図 (1965年7月~2016年12月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②~④注3) 1999年10月に基準観測点を塩沢観測点(沼ノ平火口から東北東約6km)から新設した勢至平観測点(沼ノ平火口から東北東約3km)に変更しました。

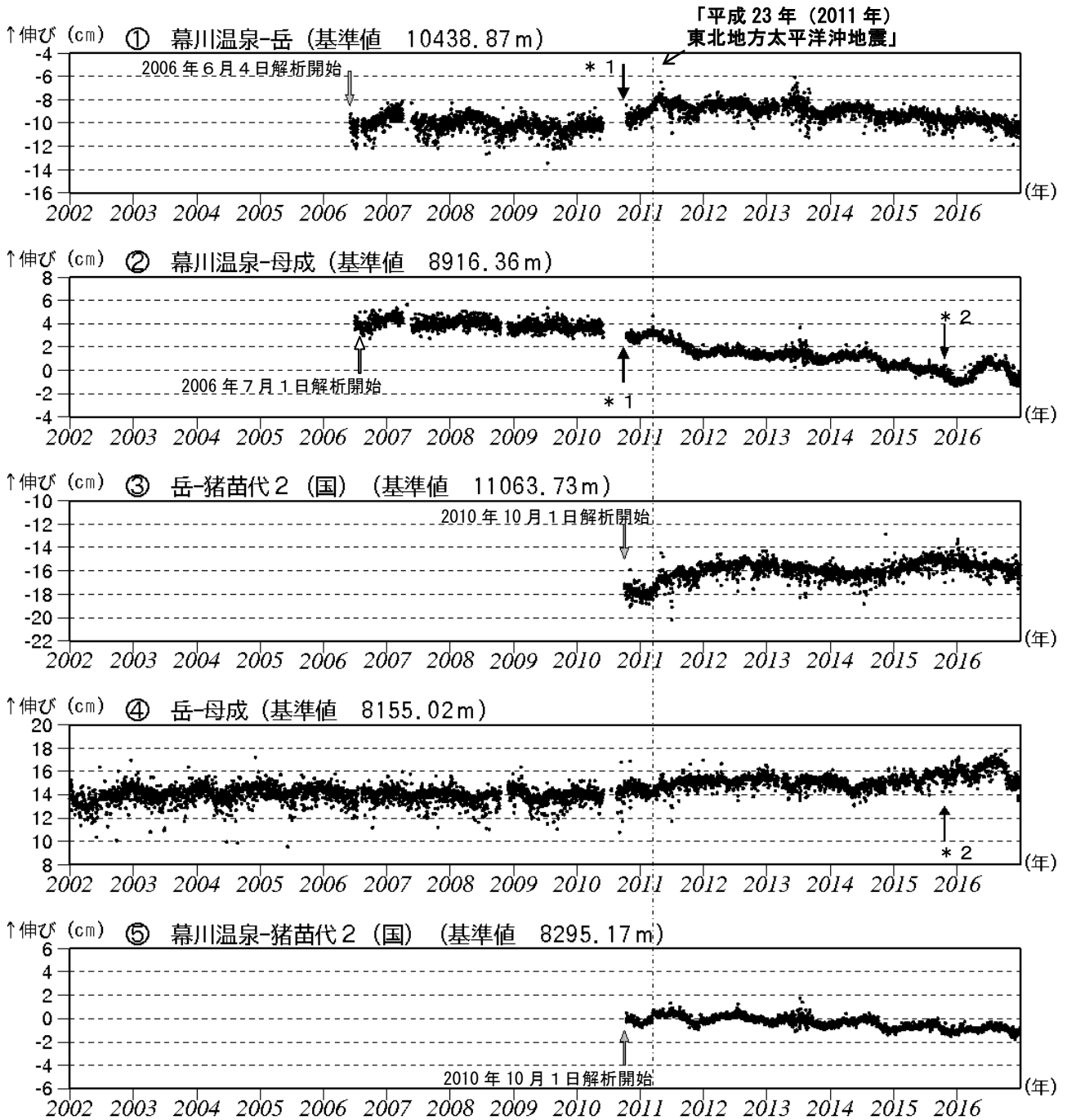


図 3 安達太良山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2002 年 1 月～2016 年 12 月)

- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。
- ・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～⑤は図 5 の GNSS 基線①～⑤に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
 - ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
- * 1 : 幕川温泉観測点の機器を更新しました。
 * 2 : 母成観測点を更新しました。

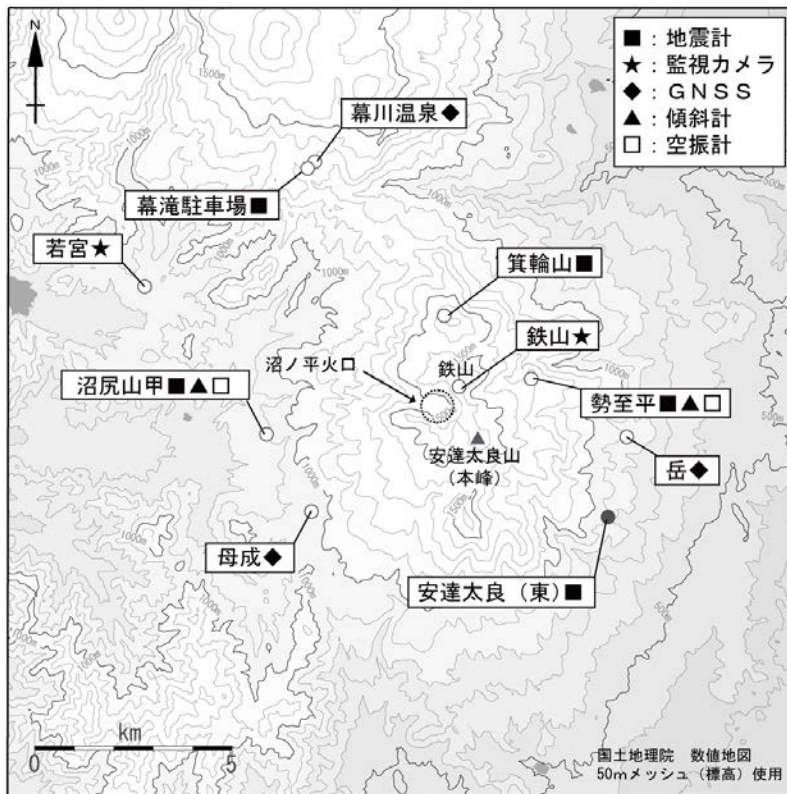


図4 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

※箕輪山、鉄山 : 12月1日運用開始。

勢至平 : 12月1日傾斜計の運用開始。

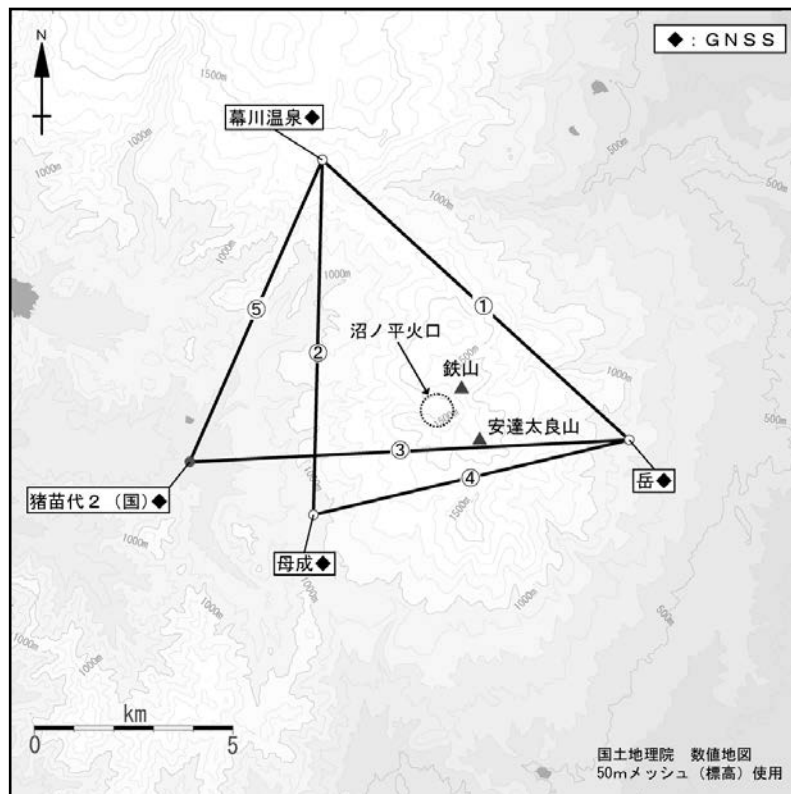


図5 安達太良山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院